

第2回 横浜市西柴地域ケアプラザ及び横浜市西柴コミュニティハウス指定管理者選定委員会 会議録	
日 時	令和4年5月23日(月) 午前9時30分～午前12時00分
開催場所	金沢区役所5階1号会議室
出席者	選定委員：赤木委員、有本委員、魚谷委員、小田桐委員、澁澤委員、柳下委員、山岸委員、山口委員、山中委員 事務局：仙台地域振興課長、平福祉保健課長、富岡高齢・障害支援課長、奈良区民活動支援担当係長、村山事業企画担当係長、雙田高齢者支援担当係長、大森介護保険担当係長、伊藤区民活動支援担当職員、中野区民活動支援担当職員、中島事業企画担当職員、松崎事業企画担当職員
欠席者	事務局：中田地域包括ケア推進担当係長
開催形態	公開※一部非公開(傍聴人：なし)
議 題	1 応募団体の面接審査 2 指定候補者の選定審議
決定事項	1 委員会の公開・非公開、面接審査の進め方、採点方法については、第1回指定管理者選定委員会で審議・決定した内容のとおりとすることを確認した。 2 今回公募施設の指定候補者を次のとおり決定した。 指定候補者：社会福祉法人 昂 3 報告書の作成、議事録の確認は委員長に一任する。
議 事	開会 事務局より連絡事項 ・委員9人のうち9人出席につき、横浜市西柴地域ケアプラザ及び横浜市西柴コミュニティハウス指定管理者選定委員会運営要綱第7条第3項により、委員会が成立していることを報告。 ・今回の委員会の議事録署名人は、魚谷委員と小田桐委員に依頼し、了承された。 ・傍聴人の申し込みはなかったことを報告。  議事 1 審査方法について 第1回選定委員会で確認した内容を再確認した。 ・採点方法 ・審査手順  2 財務状況について 事務局より報告 報告内容について、赤木委員から補足。 委員：財務状況の審査について、異議なし。  3 応募団体の面接審査

社会福祉法人 昴よりプレゼンテーションが行われた。  
20分のプレゼンテーション後、20分の質疑応答を行った。

**【質疑応答】**

(委員長) それでは、委員の皆様からご質問等ありましたら、お願いいたします。

(委員) 西柴という名前はついているが、立地から考慮すると、西柴地域で対象となる住民は一部である。坂道も多く、アクセス手段は限られており、駐車場の範囲が狭いので、西柴地域の住民が利用するには不便な印象を受けている。西柴地域の名前を用いるのであれば、出前事業等を用いて西柴の住民に寄り添って欲しいが、西柴地域に対してはどのような取組を行っていく予定なのか。

(団体) アクセスや立地等の関係から、情報等が伝わりにくい地域が出てきてしまうという懸念事項は我々でも把握している。また、そのような地域に対しては、こちらから発信していく情報に差が出ないように心掛けている。例として月に一度、ケアプラザ主催で町内会館等を利用させてもらい、サロンや出前講座等を行うことも検討している。

(委員) 例えば、情報が不足してしまうとケアプラザの実態が見えず、説明が行き届かないとして、さらにアクセスが悪いと、ケアプラザ自体に興味を持たない、かつ住民が行かない場所になってしまうのではないか。このような問題を解消するためにも、出前講座の回数を増やす等して、地域との連携を図っていただくと、西柴地域の方にも情報等が届くため、ありがたい。

(委員) ただいまの内容については、情報のアクセスと住民の移動という2点のアクセスから質問されていたが、情報のアクセスについて、質問がある。貴法人は、情報公開について注力している事は把握できたが、お互いの情報の交流については、何か計画はあるか。

(団体) 情報交流を行っている団体はあると思う。懸念事項としてはアクセスの利便性であるが、特養の送迎車を地域貢献として使えないか、法人として考えている。

(委員) 移動については指定業者に希望しているという形になっているが、本来であれば行政が事前に準備しておくべき事項であると考え。東部地区としては能見台地域ケアプラザが不便だから地区の中に施設が欲しかったが、エリア外に施設ができています。名前については行政で判断しているとは思いますが。しかし柴町は名前に違和感があるという部分でお互いに歯がゆさが出てきていると思う。高齢化率が高いため、行けない人が出てしまうという問題については考慮していただきながら運営してもらえるとありがたい。また、直近決算で、力を入れている障害福祉に関する事業が増加の当初見込んでいた収入より低かったがコロナの影響か。

(団体) コロナもあるが、新規立ち上げ施設が多かった影響がある。放課後等デイサービス等、自立支援事業等については未だ事業が開始していないため、数字の調査はできないが、その他の事業については、各施設定員に近い方が利用されて

いる。

(委員) 放課後事業の収入はその他事業に反映されているのか。

(団体) 障害福祉サービス等事業収入に入れている。

(委員) 直近の決算では、その他収入の予算額は7,360,000円だが、決算額は12,000,000円まで到達している。これが放課後事業の差ということではないのか。

(団体) その他収入ではない。

(委員) 2020年と比較して、2021年3月の貸借対照表では、有価証券が資産として計上されているが、新たに購入したということによろしいか。

(団体) 2021年に購入したものである。定期預金の利率と比較すると、証券による配当金による収入は資金利率が良く、今後の新規事業に充てるための資金として有効活用できると判断した。

(委員) これは、一般の証券会社から購入しているのか。

(団体) そうである。

(委員) やはりアクセスの問題が大きく、コミュニティハウスやケアプラザの送迎の問題がある。民間の商業施設では定期バスを運行している箇所もある。行政で送迎バスのようなものを1日に2、3回でも運行してもらえたらありがたいと思うが、指定管理者においては、施設が完成してから、運用について考慮してもらえるとありがたい。

(委員) 隣接している市の残地部分を利用した駐車場問題について、進捗はあるか。

(団体) 残地約1,000平米の使用許可について、市に要望を提出し、何度か確認しているが、進展はない状態である。今後も対応していく。

(委員) 非常に幅広い方の利用が見込まれると思うが、資料の事故防止対策が車両事故についてのみの言及にとどまっている。不法侵入等の事件に対する安全面での配慮について、他に想定しているものはあるか。

(団体) 当法人でもリスク管理委員会を立ち上げており、様々なリスクについて検討し、整備を行っている。また、BCPの作成も行っている最中であり、事件や課題等の安全面での問題についても現在調査をしている。

(委員) 他法人と比較した際の貴法人の強みは何か。

(団体) 多くの地域の方に来てもらうことが理想。地域のニーズを把握して、コミュニティハウスとケアプラザを多くの方に利用してもらうことが重要であるため、支え合いネットワーク等を用いて、地域の方のご意見を反映させていきたい。

(委員) 以上でヒアリング審査を終了します。

応募団体のみなさんは退室してください。お疲れ様でした。

	<p>4 指定候補者の決定</p> <p>(委員) 集計結果は、9人の委員の合計点が2,587点で、満点(3,465点)の74.7%です。最低基準点である点(60%)を上回る点数であり、かつ、2人以上が1を付けた評価項目はありませんので、応募者を指定候補者に決定します。よろしいでしょうか。</p> <p>5 その他【公開】</p> <p>(委員) 最後に、アクセスの問題については、近隣の海の公園の駐車場等も有効活用する等をして混雑やスペースの不足等が発生しないよう、配慮していただきたい。また、ケアプラザの出張出前講座などのアウトリーチ活動も今後具体的な内容を詰めていって欲しい。</p>
	<p><b>【資料1】</b></p> <p>(1) 横浜市西柴地域ケアプラザ及び横浜市西柴コミュニティハウス指定管理者選定委員会名簿</p> <p>(2) 横浜市西柴地域ケアプラザ及び横浜市西柴コミュニティハウス指定管理者の候補者の選定等に関する要綱</p> <p>(3) 横浜市西柴地域ケアプラザ及び横浜市西柴コミュニティハウス指定管理者選定委員会運営要綱</p> <p>(4) 地域ケアプラザ及びコミュニティハウス指定管理者の公募及び選定について</p> <p>(5) 地域ケアプラザの概要</p> <p>(6) コミュニティハウスの概要</p> <p>(7) 横浜市西柴地域ケアプラザ及び横浜市西柴コミュニティハウス指定管理者公募要項</p> <p><b>【資料2】</b></p> <p>(1) 会議の公開・非公開の対応</p> <p>(2) 横浜市西柴地域ケアプラザ及び横浜市西柴コミュニティハウス指定管理者選定委員会の評価基準及び審査方法について</p> <p>(3) 横浜市西柴地域ケアプラザ及び横浜市西柴コミュニティハウス指定管理者選定評価項目</p> <p><b>【資料3】</b></p> <p>財務状況報告書</p>

上記のとおり議事録を確認しました。